



田村市立都路中学校

学校だより 第22号

令和7年9月26日(金)
発行責任者：校長 佐藤 仁
TEL : 0247-75-2009

めざす生徒像：自らの志を語り、目標に向かって主体的に努力できる生徒

めざす学校像：志を育む学校 学び合い、高め合う学校 信頼され、愛される学校

人を成長させるもの

人生の中で中学生時代が最も成長曲線に急激な上昇が見られる時期ではないでしょうか。肉体的にも精神的にも大人に近づく中学校時代は、それまで気にも留めずに流していたことに敏感になる時期かと思います。敏感になるからこそ、人の気持ちがわかったり、臆病になってしまい一步を踏み出せなかったりする。そんな時期だからこそ、様々な経験を通して人として成長する、成長できる機会がたくさんあるのだと思います。

そもそも「人の成長」の定義は何でしょうか。様々な考えがあるかと思います。

- ・自己理解
- ・他者理解
- ・他への貢献 etc

私が考える「人としての成長」は、自分をとりまく人々や社会に前向きに関わり、人のため、社会のために貢献しようとする思いやその言動です。家庭でも、学校でも、地域社会においても、他からあたえられる機会が多かったものが、成長するにつれて自分がたえる側になる。自分を支えている人に対して、感謝の思いを抱くとともにその人の思いに何とかこたえようとする。他からの一報通行だったものが、双方向の関係に変わっていく。それが人の成長かと思います。

多様な価値観が認められる時代、多様性が尊重される現代社会において、人の成長に関わってくるものも様々です。情報化社会においては、バーチャルの世界からも成長の機会につながるもののが得られます。事実、ネット上で

は有益、無益を問わず、様々な情報が飛び交っています。中には有害なものもありますが、取捨選択して取り込むことで成長の機会にすることは可能です。しかし、今も昔も変わらず、人としての成長を最も促すのは人との関わりです。直接・間接を問わず、人との関わりを通して、様々な思い、感情をもつ機会が得られます。右は、アメリカの心理学者ロバート・ブルチックが提唱した基本感情の

表です。人が抱く多様な感情を表しています。

最後に表にはありませんが、「くやしさ」も人を成長させる大きな原動力になります。中学校時代は様々な経験をする中で、「くやしさ」を感じる機会が多くあります。定期試験などのテスト、部活動における各種大会、検定試験、各種コンクールなど、達成感を感じることができる一方、努力が報われなかったり努力を怠った自分にくやしさ、ふがいなさを感じたりすることも多いと思います。ふつふつとわいてくる「くやしいという感情」を大切にしてほしいと思います。忘れないでほしいと思います。その「くやしさ」をはらすために、努力を積み重ねてほしいと思います。努力を積み重ねた先に待っている成長した自分に出会うことを楽しみにしてほしいと思います。

頑張れ！ 都中生

8つの基本感情と強弱派生

基本感情	強い感情	弱い感情	反対の基本感情
喜び (Joy)	恍惚 (Ecstasy)	平穏 (Serenity)	悲しみ (Sadness)
期待 (Anticipation)	警戒 (Vigilance)	興味 (Interest)	驚き (Surprise)
怒り (Anger)	激怒 (Rage)	煩さ (Annoyance)	恐れ (Fear)
嫌悪 (Disgust)	憎悪 (Loathing)	退屈 (Boredom)	信頼 (Trust)
悲しみ (Sadness)	悲痛 (Grief)	憂い (Pensiveness)	喜び (Joy)
驚き (Surprise)	驚嘆 (Amazement)	動搖 (Distraction)	期待 (Anticipation)
恐れ (Fear)	恐怖 (Terror)	心配 (Apprehension)	怒り (Anger)
信頼 (Trust)	感嘆 (Admiration)	容認 (Acceptance)	嫌悪 (Disgust)